

ヒアリング調査の実施方針

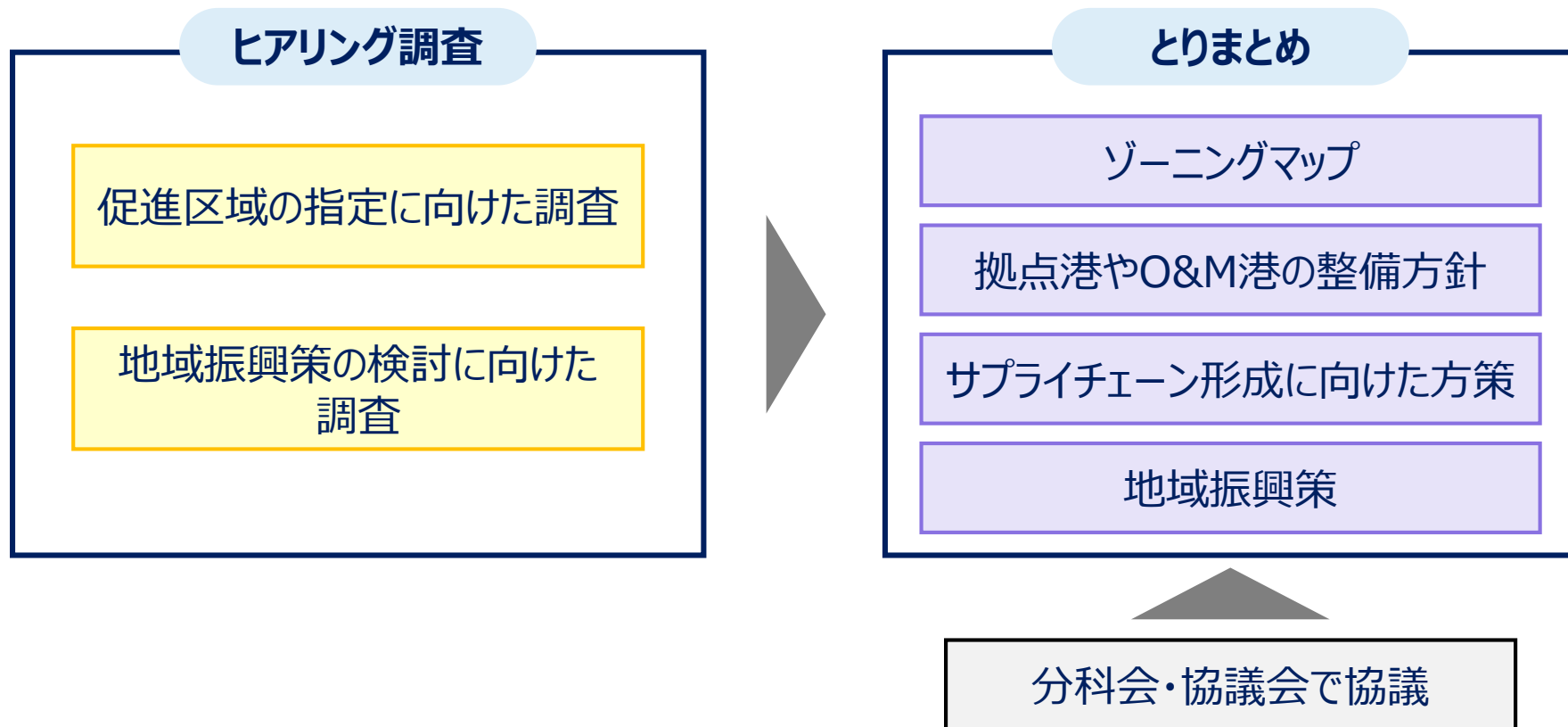
(目次)

- 1.調査の目的と位置づけ
- 2.ヒアリング調査の概要
- 3.調査方法とスケジュール

株式会社建設技術研究所

1.調査の目的と位置づけ

- 将来的な促進区域の指定に向けて、再エネ海域利用法に基づく促進区域選定条件の精査や港湾との一体的な利活用方法の把握目的に、学識経験者や管理者などへのヒアリング調査を実施する。
- また、洋上風力発電導入に伴う地域振興策の検討に際して、漁業関係者をはじめとした利害関係者におけるニーズや意向だけでなく、地元産業における意向やシーズなども十分に把握することを目的に、利害関係者やその他関連する主体にヒアリング調査を実施する。



2.ヒアリング調査の概要

2-1 ヒアリングテーマと対象分類

ヒアリングテーマ		結果の アウトプット	ヒアリング対象分類				
			有識者	漁業関係者	港湾管理者	再エネ事業者	その他関連者
促進区域の指定に向けた調査	①洋上風力発電の導入に係る合意形成のための、より正確な海域のゾーニングに向けた必要な情報を把握する。	ゾーニングマップへ反映	●	●	●	●	●
	②洋上風力発電の拠点港等の港湾整備・基地化の将来的な整備の可能性や課題について把握する。	拠点港やO&M港の整備方針			●		
	③洋上風力発電のより具体的なサプライチェーン構築を想定した地元プレイヤーの検討やサプライチェーン構築に向けた課題の整理を行う。	サプライチェーン形成に向けた方策、在り方			●		●
地域振興策の検討に向けた調査	④市の産業政策や観光政策などの政策の方向性と整合を図ったうえで、漁業振興策や地域振興策の具体化を行う。	関係者のニーズに応じた具体的な振興策		●			●

2.ヒアリング調査の概要

2-2 ヒアリング対象（案）

分類	候補者（案）	テーマ	ヒアリング概要（例）
有識者	九州大学応用力学研究所 広瀬直毅教授	①ゾーニング精査	①当該沖の海流・潮流
	鹿児島県水産技術開発センター資源管理部 湯ノ口亮研究員	①ゾーニング精査	①当該沖の海流・潮流
	鹿児島大学理工学研究科 山本啓司教授	①ゾーニング精査	①当該沖の海底地盤
漁業関係者等	市内漁業関係者（羽島漁協、串木野市漁協、 県漁協串木野市島平支所、市来町漁協）、海 砂採取事業者（南薩砂利(株)）	①ゾーニング精査 ④振興策検討	①漁業操業エリアの実態 ④地域振興策の期待
	市外漁業関係者（鹿児島県旋網漁協、川内 市漁協、甕島漁協、江口漁協、吹上町漁協、 (株)タカスイ、(株)桑原水産、(有)幸丸水産、(有)海盛 水産）	①ゾーニング精査 ④振興策検討	①漁業操業エリアの実態 ④地域振興策の期待
港湾管 理者	串木野新港港湾管理者	①ゾーニング精査	①不定期航路の状況
	その他隣接港湾管理者（川内港等）	②拠点港等可能性 ③サプライチェーン形成	②拠点港等の整備方針 ③拠点港等整備の期待
再エネ 事業者	事業計画中の洋上風力発電事業者（(株)三井 不動産等、南国殖産(株)等、(株)インフラックス）	①ゾーニング精査	計画状況、系統連系協 議状況

2.ヒアリング調査の概要

2-2 ヒアリング対象（案）

分類	候補者（案）	テーマ	ヒアリング概要（例）
その他 関係者	下甕島分屯基地（防衛省）	①ゾーニング精査	①防衛レーダー範囲
	関係テレビ局（日本放送協会）	①ゾーニング精査	①放送用無線の通信状況
	いちき串木野商工会議所	③サプライチェーン形成 ④振興策検討	③地域への波及効果 ④地域活性化に向けた重視している分野
	地元製造業者（※具体的な業者は商工会議所に別途相談）	③サプライチェーン形成 ④振興策検討	③受発注状況 ④地域振興策の期待
	地元建設業（※具体的な業者は商工会議所に別途相談）	③サプライチェーン形成 ④振興策検討	③受発注状況 ④地域振興策の期待
	いちき串木野市観光案内所	③サプライチェーン形成 ④振興策検討	③地域への波及効果 ④地域振興策の期待
	いちき串木野市関係所管課	③サプライチェーン形成 ④振興策検討	④市の地域活性化施策の方向性

2.ヒアリング調査の概要

2-3 各ヒアリング調査内容

主な設問項目	設問項目の趣旨
有識者 - いちき串木野市沖の特徴 - 有用なデータの有無 - データの取り扱いにあたっての注意点・課題	第三者的かつ学術的な観点からいちき串木野市沖の現状や課題、分析に利活用できるデータについて把握する。
漁業関係者、海砂採取事業者 - 各種操業エリアの場所 - 事業継続のうえで特に重要な海域エリア、調整余地のあるエリアの場所 - 洋上風力発電事業において懸念される影響	いちき串木野市内外の漁業関係者、海砂採取事業者における海域利用実態を把握し、ゾーニング精査に向けた材料とする。
港湾管理者 - 現状の港の利用可能面積、地耐力状況 - 港湾の整備計画や今後の方向性 - 拠点港等の指定に向けた課題・障壁	市内または隣接市の港湾への洋上風力発電の拠点港・O&M港の誘致にむけて方向性と課題を整理する。
再エネ事業者 - 現在の洋上風力発電事業の計画進捗状況 - 九州送配電（株）との系統連系協議の状況 - 系統連系にあたっての課題、障壁	洋上風力発電事業者における自社の事業計画の系統容量の確保状況について把握する。

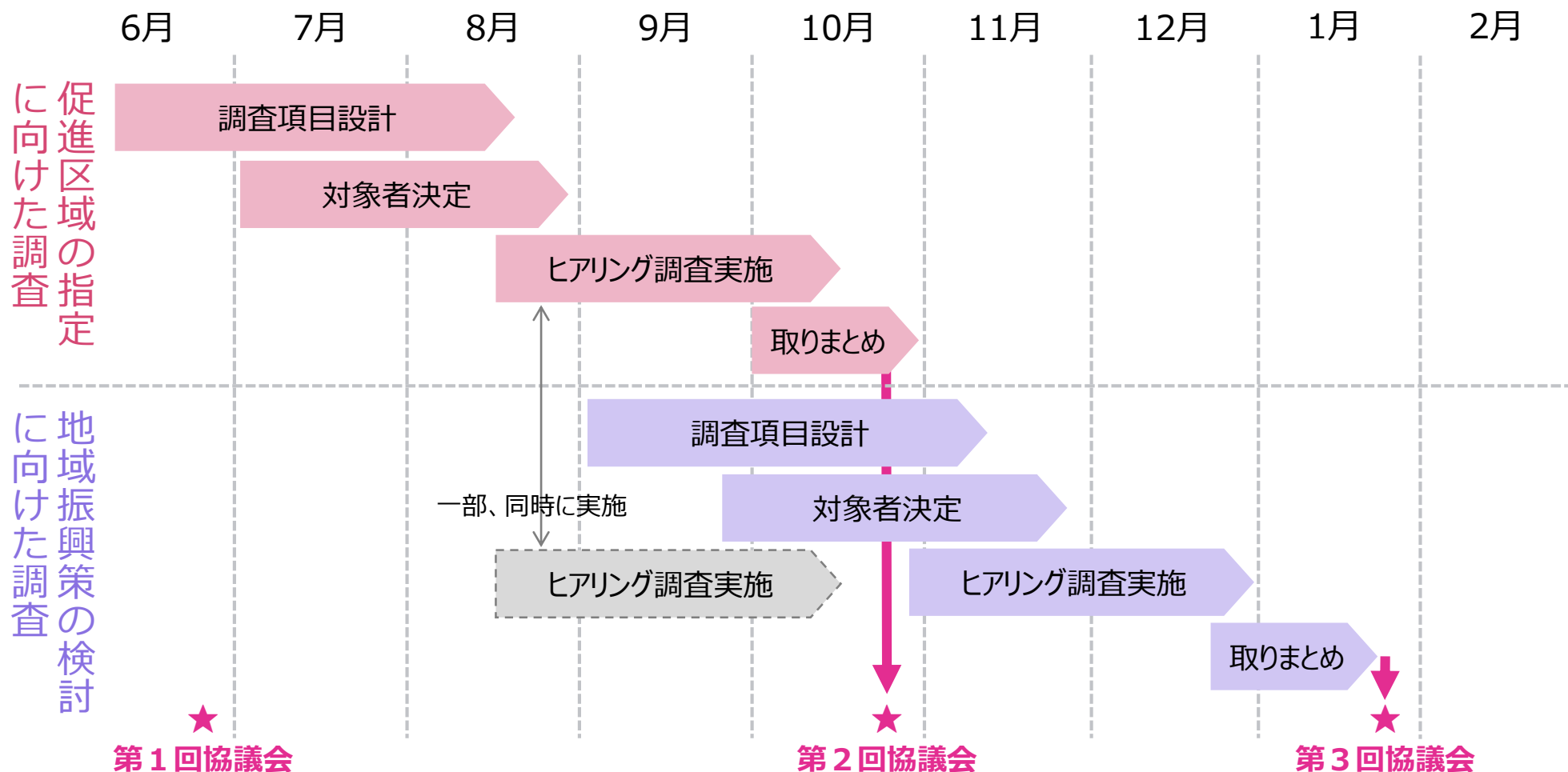
2.ヒアリング調査の概要

2-3 各ヒアリング調査内容

主な設問項目	設問項目の趣旨
その他関連者（防衛省、NHK） - 防衛レーダーの範囲 - 放送用無線の通信状況 - 洋上風力の導入条件や留意事項	防衛や事業継続に支障をきたさないように、レーダーや無線の範囲を把握する。
その他関連者（地元産業） - 現状のサプライチェーン構造（受発注状況） - 洋上風力発電関連産業への関心・参入課題 - 不足している経営資源 - 参入にあたっての希望する支援策	洋上風力発電事業を活用した地域振興策の立案に向けた市内産業の体制、現状の実態や今後の対応可能性を把握する。
その他関連者（庁内各課） - 地域経済の問題点 - 地域活性化に向けたポイント - 洋上風力に係る地域振興策の期待と課題	地域振興策の検討に向けて、観光や地域内における電力活用などにおけるより具体的なニーズを把握する。

3.調査方法とスケジュール

- ・ 対面方式を基本とし、要望に応じてWEB会議、電話でのヒアリングを行う。(30分～1時間程度)
- ・ 促進区域設定に向けた調査結果（①ゾーニング精査、②拠点港等可能性、③サプライチェーン形成）を第2回、地域振興策の検討に向けた調査結果（④）を第3回で提示予定。



参考) 漁業関係者ヒアリング調査

①調査対象者

- いちき串木野市を拠点とする4漁協と、いちき串木野市沖で操業している漁協及び水産業者を対象。

市内漁業関係者	羽島漁協、串木野市漁協、県漁協串木野市島平支所、市来町漁協
市外漁業関係者	鹿児島県旋網漁協、川内市漁協、甕島漁協、江口漁協、吹上町漁協、株式会社タカスイ（宮崎県延岡市）、株式会社桑原水産（宮崎県延岡市）、有限会社幸丸水産（阿久根市）、有限会社海盛水産（阿久根市）

②調査方法

- 事前に調査票を郵送、FAXまたはメールで送付した上で、対面形式により実施（会場は適宜相談）。
- 形式については、要望があった場合、WEB会議または電話で実施。
- 調査時間は、30分～1時間程度する。
- 訪問人数は、調査委託事業者（株）建設技術研究所）より2名程度とする。
- ヒアリングシートと操業海域記入シートを準備の上、ヒアリングを実施する。

③調査予定時期

- 8月～10月頃

④調査結果

- ゾーニングマップへの反映：ヒアリングで収集した利用海域を地図上で整理、留意すべき区域として反映。
- 地域振興策の具体化：利害関係者のニーズとして地域振興策の立案に向けた材料とする。

参考) 漁業関係者ヒアリング調査

⑤調査内容 (案)

項目	質問内容
促進区域の指定に向けた調査	□ ゾーニングブラッシュアップ結果に基づく、各種操業エリアの精査 □ 洋上風力発電事業において懸念される影響・その海域エリア □ 海域利用に関する法的・制度的根拠 □ 事業継続のうえで特に重要な海域エリア □ 利用している海域エリア内における具体的な調整の余地・可能性・条件
地域振興策の検討に向けた調査	□ 漁業への将来性や不安、将来性・不安を感じる理由 □ 漁業を経営していくうえでの問題点 □ 人工漁礁への期待・不安 □ 風力発電事業者からの拠出金を原資とした基金の使い方 □ その他漁業収入を安定するための方策について □ 行政に今後望むこと